

## 令和6年能登半島地震の被災地へ 当院救護班を派遣

令和6年1月1日に能登半島を震源として発生した地震災害で、日本赤十字社北海道支部より当院救護班の派遣要請がありました。

全国の赤十字病院から救護班が出動しており、当院の救護班は1月25日（木）から29日（月）の5日間、被災地のひとつ能登町で複数の避難所を巡回し診療を行う予定です。

通常、救護班は医師1名、看護師長1名、看護師2名、主事2名で構成されていますが、今回は、薬剤師1名を加えての7名を派遣します。

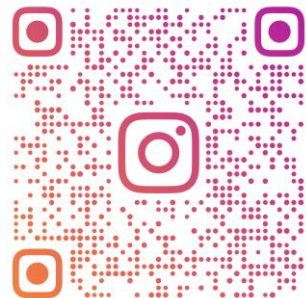
原稿を書いている1月16日（火）時点では、安全でスムーズな診療活動が出来るよう現地の道路状況や避難者状況等の情報収集、必要な医療用品の準備を進めています。

日本赤十字社では、令和6年能登半島地震災害による義援金を受け付けております。当院でも、会計窓口に募金箱を設置しておりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

皆さま方からお寄せいただきました義援金は、被災地の方々の生活を支援するために活用されます。

Instagramをご利用されている方は、当院の他に各都道府県の支部や赤十字病院の活動内容を確認する事が出来ますので、ぜひご覧になって下さい。

※当院の活動内容は、横のQRコードからご覧になれます。



KURIYAMA\_REDCROSS\_HOSPITAL